

## 「令和元年度うつ・自殺対策研修会」を開催しました！

我が国の自殺者数は、平成30年に約2万人となり減少傾向ですが、15歳から39歳の死因第1位となっており、いまだ自殺対策は決して軽視できない社会的課題です。中でも、自殺未遂者については、再び自殺を企図する可能性が著しく高く、自殺対策を推進する上で、重点的に取り組む必要があります。

そこで、自殺未遂者支援のあり方、地域における多職種連携について理解を深めることを目的に本研修を開催しました。

開催日時：令和元年 11月20日（水）19：00～20：30

開催場所：福山市医師会 4階 演習室

主催：福山・府中地域保健対策協議会 うつ・自殺対策医療連携協議会

参加者数：73名

### ◇プログラム

19：00 開会のあいさつ

福山・府中地域保健対策協議会 うつ・自殺対策医療連携協議会  
会長 日笠 哲

座長 福山・府中地域保健対策協議会 うつ・自殺対策医療連携協議会  
会長 日笠 哲

演題1 「自殺未遂者支援コーディネーターとしての活動について」  
講師 広島市立安佐市民病院 医療支援センター・総合相談室  
社会福祉士 道上 恵美子先生

演題2 「自殺未遂者支援の実際と地域医療連携について」  
倉敷中央病院 医療福祉相談グループ  
室長 曾我 比呂子先生  
臨床心理士 今村 隆先生

20：30 閉会

講演では、院内での多職種連携や自殺未遂者支援コーディネーターの活動、実際の事例を含め、説明がありました。自殺未遂者支援の流れがイメージすることができ、地域で自殺未遂者支援を行うには、医療機関や行政、関係機関との連携が不可欠であることを再確認しました。

参加者からは、「病院内での実際の関わりを知ることができた。」「他市の自殺未遂者支援事業が分かり参考になった。」「事例があり、流れがイメージしやすかった。」「自殺者に関する現状を理解することができた。」等たくさんの意見が寄せられました。

【日笠会長 開会あいさつ】



【道上先生ご講演の様子】



【曾我先生・今村先生  
ご講演の様子】



【研修会場の様子】

